

生涯学習

箱根関所について

Q

次の2点について伺う。
これまでの整備経過や整備状況、また、

平成19年春の全体の開設をするにあたっての今後の整備計画について

今後の誘客宣伝事業の充実や近隣施設である森のふれあい館との一体性を図ついくことも必要ではないかと考えるが

1点目について、昭和58年に「相州箱根御関所御修復出来形帳」が静岡県韮山町の江川文庫で発見され、その解説と分析を行った結果、当時の箱根関所の建物や構造物等の全貌が明らかになり、これを基に平成10年度に箱根関所の復元整備を中心とする箱根関跡保存整備事業基本計画を策定した。

そして、平成11年度では基本設計を行うとともに、13年度までの3カ年にわたり指定工事に着手し、平成15年度までに大番所、上番休憩所、

京口御門、廻、雪隠の4棟を竣工した。

さらに、関所の機能などを理解していただきため、調度品などを復元も進め、本年4月に一部公開の運びとなた。

今後の整備計画については、平成16年度に遠見番所を完成させるとともに、足軽番所、江戸口御門、足軽番所雪隠、外屋番所などの建築物をはじめ、調度品の復元を進めるほか、道路及び周辺の整備工事を順次進め、平成19年春の全体的完成を目指すものである。

2点目について、誘客宣伝については、いろいろな方法、媒体を活用し、実施をしていくが、

この箱根関所については、「史美に基づく完全復元」という強力なキャッチフレーズを使うことも可能となるので、歴史的にも貴重な施設である点を前面に生まれ変わった新たな観光資源として積極的な宣伝をしてまいりたいと考えている。

要であると考える。そこで、箱根関所と森のふれあい館との組み合せによる共通観覧券の発行は、双方の施設の経営による効果をもたらすのではないかと考えられるが、それ

での施設までの利用交通手段の違い、公共交通利用者の施設間の移動の問題等、さらに煮詰めなくてはならない点もあるので、利用の実態、経営の状況等を勘案しながら、箱根関所の経営母体である箱根町観光公社と研究・検討をしていく

1点目について、平成5年9月に箱根町入札契約制度改善検討委員会を設置して、入札制度の透明性、競争性、公平性を高めるための抜本的見直しを行い、できる限りの改善に努めてきたが、さらなる改善策として、

平成16年度から「入札の際の現場説明会の廃止」「町と請負業者との協議手続きの明確化」「入札で不正行為があつた場合、契約金額の10分の1を違約金として町に支払う」「前払い金の支払い割合を3割から4割」という大きく4点にわたる改正を行つた。

また、今回の改正に関連して、契約のさらなる透明性を図るために、2,500万円以上の入札事情について、どなたでも工事の内容、工期、請負金額、現場代理人、主任技術者、管理

とから、双方の施設が協働してお互いの施設への誘客、集客入館者増を図ることは、厳しい経営状況を改善していく上で必ずあると考える。

Q

町の考え方について、次の2点について伺う。

1 今回の入札制度の見直しの目的は何か

2 今後、改善しなければならない点は何か

A 成5年9月に箱根町入札契約制度改善検討委員会を設置して、入札制度の透明性、競争性、公平性を高めるための抜本的見直しを行い、できる限りの改善に努めてきたが、さらなる改善策として、

平成16年度から「入札の際の現場説明会の廃止」「町と請負業者との協議手続きの明確化」「入札で不正行為があつた場合、契約金額の10分の1を違約金として町に支払う」「前払い金の支払い割合を3割から4割」という大きく4点にわたる改正を行つた。

また、今回の改正に関連して、契約のさらなる透明性を図るために、2,500万円以上の入札事情について、どなたでも工事の内容、工期、請負金額、現

技術者等をインターネットで見られるようにした。

2点目について、入札・契約制度については、透明性の確保、公正な競争の促進、適正な施工の確保、不正行為の排除の徹底が求められており、実施したいと考えている。

また、町では現在電子入札システムについて、神奈川県と県内33市町村とで組織する

神奈川県内自治体CALIS/ECC連絡協議会に参画し、電子入札の共同運営にかかるシステムの標準化や整合性について検討している。

この共同運営システムの内容については、工事、委託、物品における入札システム、指名案資料作成・入札結果公表を行う入札情報サービスシ



財務 入札制度の改善について

生涯学習

Q

次の2点について伺う。

これまでの整備経過や整備状況、また、

平成19年春の全体の開設をするにあたっての今後の整備計画について

今後の誘客宣伝事業の充実や近隣施設である森のふれあい館との一体性を図ついくことも必要ではないかと考えるが

1点目について、昭和58年に「相州箱根御關所御修復出来形帳」が静岡県韮山町の江川文庫で発見され、その解説と分析を行つた結果、当時の箱根関所の建物や構造物等の全貌が明らかになりました。

2点目について、誘客宣伝については、いろいろな方法、媒体を活用し、実施をしていくが、

この箱根関所については、「史美に基づく完全復元」という強力なキャッチフレーズを使うことも可能となるので、歴史的にも貴重な施設である点を前面に生まれ変わった新たな観光資源として積極的な宣伝をしてまいりたいと考えている。

京口御門、廻、雪隠の4棟を竣工した。

さらに、関所の機能などを理解していただきため、調度品などを復元も進め、本年4月に一部公開の運びとなた。

今後の整備計画については、平成16年度に遠見番所を完成させるとともに、足軽番所、江戸口御門、足軽番所雪隠、外屋番所などの建築物をはじめ、調度品の復元を進めるほか、道路及び周辺の整備工事を順次進め、平成19年春の全体的完成を目指すものである。

2点目について、誘客宣伝については、いろいろな方法、媒体を活用し、実施をしていくが、

この箱根関所については、「史美に基づく完全復元」という強力なキャッチフレーズを使うことを可能となるので、歴史的にも貴重な施設である点を前面に生まれ変わった新たな観光資源として積極的な宣伝をしてまいりたいと考えている。